

活力あふれる 住みよい長崎!

長崎市議会議員

井上重久 しげ ひさ No.57 だより



令和2年8月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 石川 章孝 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032



3密を避けた本会議(2020.6.17)

新型コロナウイルス緊急経済対策!

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、皆様方には外出の自粛や働く職場環境、新型コロナウイルス対応など生活環境が大きく変化し、不自由な生活を余儀なくされていることと思います。

さる4月16日「緊急事態宣言」が全国都道府県に発令され、不要不急の外出自粛、学校の休校など感染拡大の防止・抑制策の対応が行われ、5月27日「緊急事態宣言」が全国的に解除されました。

この間、全国的に様々な産業分野の経済活動も大幅に激減し、行政関係では売上が大幅に低下した事業者に対し、持続化支援金の給付、過去最高の補正予算の増額、金融機関における融

「新しい生活様式」の実践!

都道府県をまたぐ移動が自由になったとはいえ、一部の地域では突発的に新型コロナウイルス感染が再燃しており、当面は感染予防の徹底を図り、第2波・第3波に備えて行動する必要があると

措置など支援が行われています。

長崎市議会においては、4月・5月の事業持続化支援金、特別定額給付金、民間保育所等新型コロナウイルス感染症対策費など458億739万円、6月議会でプレミアム商品券発行事業費、お得意に止まって長崎市応援キャンペーン事業費など28億7,378万円など可決しました。

予算可決後の申請手続き、書類審査など行政の早急な対応を求め、一日でも早く支援ができる取り組みを願うものです。

新しい生活様式の実践例

- 一人一人の感染対策
 - 身体的距離の確保(できる限り2m、最低1m)
 - マスクの着用(夏場は熱中症に十分注意)
 - 手洗いの励行
 - 感染が流行している地域への移動は控えるなど
- 日常生活での生活様式
 - 咳エチケットの徹底
 - 「3密」の回避(密集・密閉・密接)
 - こまめな換気など
- 買い物、娯楽、スポーツ、公共交通機関の利用、食事、イベント等十分な対応をとる
- 働き方の新しいスタイルをつくる



3密を避け傍聴席で質疑を聞く議員(2020.6.16)

国内・県内においては、雇用と経済を支える観光関連産業の大幅な売り上げ減を回復するため、旅行宿泊プランのキャンペーンを行い、これから多くの人が県内に訪れます。

感染症の専門家は「ウイルスは必ず潜んでいると考えられる」と警鐘を鳴らし、経済活動と感染予防の両立を手探りで進める必要があると述べています。

新型コロナウイルスが終息したわけではなく、今後は「新しい生活様式」の実践を行い、感染のリスクを低くするため、飛沫と接触感染の対策が重要です。

本格的な夏場を迎える中、マスク着用での熱中症には十分注意する必要があります。ご身体ご自愛下さい。

長崎市議会議員 井上 重久



閑散としたJR長崎駅かもめ広場(令和2年4月19日 尾上町)



休業中のグラバー園周辺の土産物店(令和2年4月16日 南山手町)



閉館中の国宝、大浦天主堂(令和2年4月16日 南山手町)



KAKKIN第1回理事会(令和2年6月27日、サンプリエール)



福田中学校区青少年育成協議会定例会(令和2年6月17日、福田地区公民館)



交通安全啓発「ながら運転ダメ」(令和2年4月26日、大浜バス停付近)

お金の備忘録

4月〜6月

原爆被爆者援護対策の要望活動を行う!

長崎原子爆弾被爆者援護強化対策協議会は、7月12日に行政と市議会の協議会メンバーらが厚生労働省や関係する国会議員に対して、実態に即した援護対策の更なる充実を求め「原子爆弾被爆者援護対策に関する要望書」を提出しました。

要望項目(8項目)

- 高齢化する被爆者に対する援護の充実
- 訪問介護利用被爆者助成事業に係る所得制限の撤廃と補助率の引き上げ
- 医療特別手当等の収入認定の適用除外、被爆者健康診断内容等の充実など
- 被爆体験者の救済及び被爆体験者支援事業の充実
- 被爆体験者支援事業の対象合併症の大幅な拡充、特に「がん」の対象合併症への追加など
- 被爆者救済の立場に立った原爆症認定制度の運用
- 被爆二世の健康診断内容等の充実など



2020.7.2 原爆援護要望活動(厚生労働省健康局)



2020.7.2 原爆援護要望活動(西岡事務所)

編集後記

長崎市議会第3回定例会は、新型コロナウイルス感染症防止のため、マスクの着用、本会議場の窓の開放、出席理事者の制限、出席議員の制限、一般質問の登壇者を制限、傍聴者への自粛のお願い、会期の短縮などを申し合わせ、通常とは異なる形で閉会した。

新型コロナウイルス緊急経済対策は、4月・5月の市長の専決処分以降、6月17日市議会閉会まで累計総額492億8,942万円が可決されている。

新型コロナウイルスの影響を受けた、中小企業・個人事業者、関係皆様方の制度適用を受けながら、事業の継続・雇用を守ってピンチをチャンスに変えてほしいものです。

感染拡大を受け、長崎市では「長崎ペーロン選手権大会」「長崎くんち奉納踊り」が感染防止の観点から中止となり、被爆75周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典は規模を縮小して開催される。

プロ野球は6月19日に無観客で開幕、7月10日からは観客を入れて試合が行われる。

コロナ禍においては、ワクチン・治療薬が開発されるまでの期間、感染予防と新しい生活様式の実践に取り組む必要がある。

感染防止対策を図る中で、明るい話題の提供、元気になるプレーを期待する。

ご相談はお気軽に!

長崎市議会議員 井上重久

自宅 長崎市大浜町408 ☎ 865-3553

生活相談室 長崎市水の浦町1-1 ☎ 828-7422

<http://inoueshigehisa.net/>

一般会計補正予算総額38億1,537万4千円、40の議案を可決・同意!



令和2年第3回長崎市議会定例会は、6月5日から6月17日までの日程で開催されました。一般会計補正予算は、緊急を要する助成やプレミアム商品券の発行など、新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策事業費(約5億637万円)を6月5日に先行可決。GIGAスクール構想のICT支援費、校内ネットワーク環境整備費など総額約38億1,537万4千円、特別会計1億8,641万円、公営企業会計(水道事業)1,013万9千円が可決されました。

条例改正は、新型コロナウイルス感染症に対処した職員に係る特例の「特殊勤務手当の条例の一部改正」、感染症及びまん延防止の措置が納税者等に及ぼす影響の緩和を図るための特例措置など「市税条例等の一部改正」など、工事の請負契約の一部変更について(重要文化財旧グラバー住宅保存修理工事)、財産の取得について(消防ポンプ自動車)など、人事2件、予算7件、条例12件、その他9件、報告10件が可決・同意されました。

主な補正予算

◆ WELCOME TON AGASAKI キャンペーン事業費

…1億6,866万2千円

新型コロナウイルス感染症拡大の収束後、国の旅行者支援制度(割引クーポンの配布等)が開始される予定となっているが、国の旅行者支援制度終了後も、長崎市独自の割引制度やプロモーション事業を実施するもの。

・宿泊割引クーポン

割引額…10,000円/人
発行枚数…15,000枚
期間…1月～3月(国の支援制度終了後)

◆ 公共交通新型コロナウイルス感染症対策費

…2,449万4千円

市民が安心して利用できる移動手段の確保に努める公共交通事業者に対し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る経費を支援するもの。

・対象者 長崎市内に本社を有する民間乗合バス、路面電車及びタクシー事業者

指定管理者への支援

新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため施設の閉鎖等を行った完全利用料金制の施設を運営する指定管理者に対する影響額相当を支出(概算6か月分)するもの。

・出島…8,314万2千円

・グラバー園…1億4,610万3千円

・長崎ロープウェイ…4,005万6千円

・松が枝町駐車場・平和公園駐車場(地下)…1,290万7千円



4月10日から5月31日まで休館となった「出島」6月1日から9月30日まで長崎市民に無料開放

観光客誘致対策特別委員会報告(5月27日・6月25日)

観光客誘致対策特別委員会は、5月27日「本市の観光の現状と誘致体制について」、6月25日「感染症拡大による観光客受け入れへの影響と対応策について」調査を行った。

【観光の現状】

・コロナの影響を受け、観光関連業界は大幅な売り上げ減、宿泊客のキャンセルが相次ぎ、旅館や廃業も余儀なくされた。

・航空需要回復の見通しは、国際線2024年、国内線2022年と予測している。

・旅行意向は高いものの、旅行再開は慎重になっているなど



感染拡大による観光客の影響と対応について調査

【回復に向けた意見・提言】

・地域の価値を高めるブランディング、安全安心の発信

・ビッグデータに基づく戦略、長崎市版DMOとの連携

・不測の事態に備える、観光緊急対策基金の設立 など

小・中学校GIGAスクール構想



◆ ICT支援費(小中学校)

…2,219万8千円

国の推進する「GIGAスクール構想の加速」による学校のICT化や必修となったプログラミング教育に対応するため、ICT化支援員及びGIGAスクールサポーターを配置するもの。

◆ 学習者用コンピュータ整備費(小中学校)

…8億2,926万7千円

GIGAスクール構想とは

義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画です。その目的は子どもたち一人一人の個性に合わせた教育の実現にあります。さらに、教職員の業務を支援する「統合系校務支援システム」の導入で、教員の働き方改革につなげる狙いもあります。

◆ 情報通信ネットワーク環境整備(小中学校)

…7億600万円

国が推進する「GIGAスクール構想」に係る考え方に基づき、学校の教室等において、安定かつ高速通信が可能となる校内ネットワーク環境を整備するとともに、学習者用コンピュータを保管するための充電保管庫を購入するもの。

総務委員会報告(要旨) 6月5日・8日・9日・15日

◆ 「新しい生活様式」啓発費

…1,020万6千円

「新しい生活様式」の定着及び市内における消費活動を促すための啓発を行うもの。

・路面電車大型看板広告、長崎バス車内広告など



条例・予算など審査する総務委員会

◆ 長崎文化時間の創出事業費

…1,850万5千円

屋外コンサートや演劇公演等を開催し、市民文化団体や市民演奏家等が出演する機会を設けることで、活動再開を応援する。

◆ みんなの元気応援事業費

…500万円

新型コロナウイルス感染症拡大防止による外出自粛により、地域住民を元気づけ、再び様々な活動に参加するきっかけをつくる事業を実施する。



消防ポンプ自動車老朽化等のため代替更新する …3,343万円



高規格救急自動車1台及び感染対策用資機材等を購入する …3,280万円

◆ 新型コロナウイルス感染症緊急雇用対策事業費

…1,109万1千円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により失業された方の雇用対策を目的に、会計年度任用職員として任用を行うもの。

・対象者数 15人程度 延べ60月

◆ プレミアム商品券発行事業費

…3億8,828万2千円

市内経済を活性化させることを目的として、プレミアム付商品券を発行する。

・飲食店限定商品券 13,000円(30%)

・共通商品券 12,000円(20%)

※どちらも10,000円で販売

◆ お得に泊まって長崎市応援キャンペーン事業費 …6,752万円

市内の宿泊事業者や飲食業者、土産物業者を支援するもの。

・3,000円宿泊クーポン(1,500円で販売)

※購入者に1,000円飲食・土産クーポンを無料進呈